

児童発達支援

事業所における自己評価結果

事業所名		I Le 宇栄原 さつき			公表日	令和 8 年 3 月 23 日	
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1		・個室にて落ち着いて支援が出来るスペースがある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			・現場経験が長い職員が多く配置されています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			・ほぼ段差のない設計。	・玄関周りの手すりなどを設置したい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			・毎日、掃除、洗濯を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			・活動や学習、情緒の安定や体調不良の時など個室ですごせる環境です。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5			・支援内容の振り返りを職員全員で行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			・定期的にアンケートなど行い改善に取り組める様心がけています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			・定期的に話し合いも設け意見交換をしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	3		・現在、保護者以外での外部評価を行っていない為、検討し実行していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			・定期的に研修や勉強会を行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				・ホームページに掲載しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			・保護者からの聞き取りや児童の様子を見て計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			・計画書を作成する為の話し合いを行い共通理解の下で作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			・職員と共有し支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			・利用者全員にアセスメントを作成し使用しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			・相談支援事業所やご家族と相談し統一された支援を行えるように設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			・その日のリーダーがメインになりプログラムを作成しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			・リーダー業務を職員で回し多様な支援になるよう心掛けています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	2		・個別と集団でのバランスを考え支援しています。	・個別での支援の幅を広くしていきたい。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			・朝にミーティングを行い職員全員で確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5				・支援終了時には業務時間が終わってしまう為、申し送りノートに記載し翌日の朝のミーティング時に共有できるようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			・個人記録を利用時には必ず記入を行っています。	
	23	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			・モニタリングを行い必要に応じて計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		・会議前に職員間で話し合い会議に参加しています。	・必要に応じて児童発達支援責任者以外の職員も参加できていけるようにしていきたい。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			・会議などを通して連携を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			・会議などを通して連携を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			・会議などを通して連携を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1		・会議などやセンターでの研修会などの参加をしています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	2		・ハロウィンイベントなどで地域の方もおまねきして実施しました。	・外出時に交流などはありますが、ちゃんと機会を設け合同活動などが出来ればと思っています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1		・申し送りやモニタリングなど行い共通理解できるようにしています。	
保護者への	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		・相談事など必要に応じて面談を行っています。	・職員全体で出来ていけるように研修など行っていきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1		・契約時に説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			・モニタリング時や相談があった際などに聞き取りし支援に反映できるようにしています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			・計画書を作成し、保護者と一緒に確認し同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			・必要に応じて面談を行い対応しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	1		・大々的に出来ていない為、設定し開催できるようにしていきます。

説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			・必要に応じて面談を行い対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			・毎月お知らせを発行し発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			・施設し外部に出ないようにしています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			・支援を工夫し行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1			・イベント時などに地域の子ども達をお招きしました。交流の機会が増えるよう試案していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		・勉強会や研修を行っています。	・保護者向けには実施出来ていない為、今後は出来るよう検討していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			・年に2回以上の避難訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			・アセスメントやモニタリング時に状況の確認をしています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		5			・アセスメントやモニタリング時に確認していますが、現在医師の指示書などが必要な児童は居ません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			・避難経路や訓練、物の配置など検討しながら実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		・避難経路や訓練、物の配置など検討しながら実施しています。	・実施の報告などはしていますが、細かい内容の周知ができていけるよう共有を図ります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			・作成し、職員で振り返り共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			・勉強会や研修を行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		5			・現在、拘束が必要な児童は居ませんが、その際は必要なステップを踏み行っています。	